

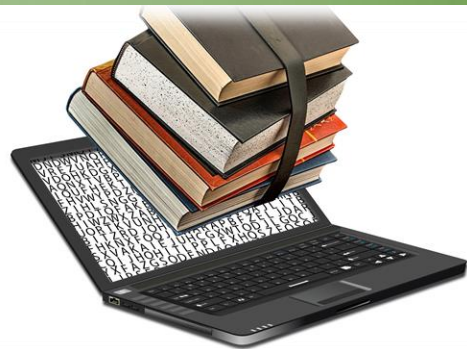
eBook市場を支えるテクノロジーインフラ

2019年12月16日

eBook（電子書籍、電子雑誌）市場拡大の背景には高速通信技術の発展とデータ保存を可能とするデータセンターの役割が重要です。

2023年度には現在の約1.5倍の規模に

eBookと言われる電子書籍や電子雑誌の市場は近年拡大傾向にあります。日本では、1996年に電子書籍が初めて配信されて以来、2000年代に入り、AppleやAmazonなどによる新たな携帯端末の導入により進化を遂げており、ここ数年では、紙媒体での発行が減る一方、電子媒体での発行は増え続けています。

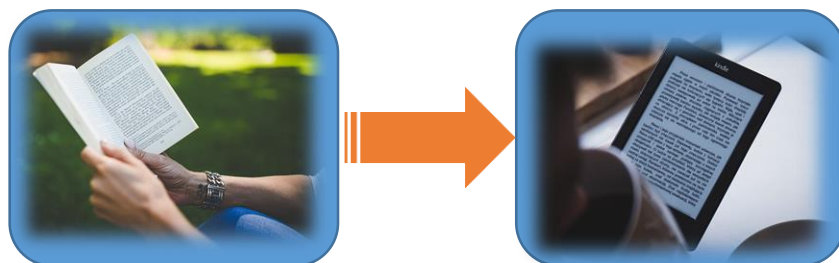


eBookを支えるテクノロジーインフラ

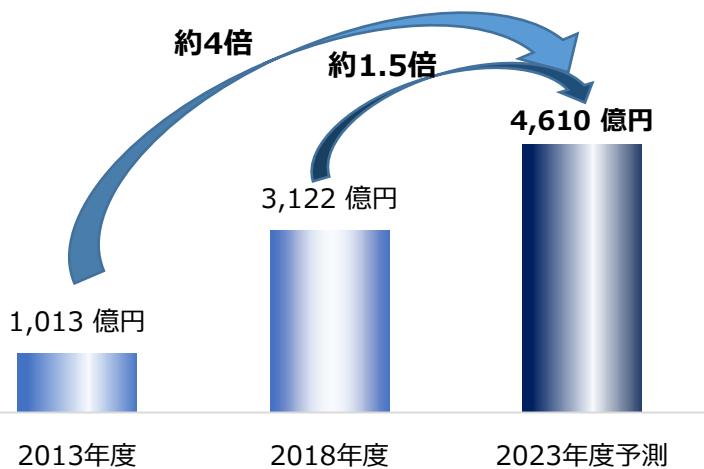
この増加の背景には、購入の手軽さなどのほか、近年急速に進む通信環境の整備に加え、大量のデータ保存を可能とするデータセンターの発展が関係していると言えます。

拡大余地のあるeBook市場

とは言え、日本のeBook市場の売上高は、紙媒体で発行される書籍や雑誌の市場と比較してまだ、4割程度でしかないため、今後のさらなる拡大が期待されます。

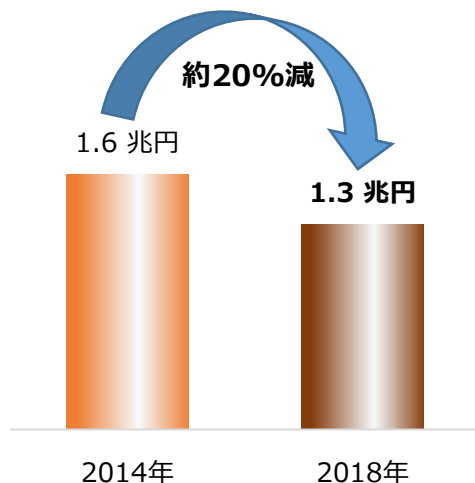


【eBookの売上高予測】



出所：インプレス総合研究所「電子書籍ビジネス調査報告書」

【紙の本の売上高推移】



出所：出版科学研究所「出版指標年報」





特設サイト「AIやIoTが引き起こす第4次産業革命を支えるTECHNOLOGY INFRASTRUCTURE テクノロジー・インフラ」公開中。
左記のQRコードもしくは (https://www.pinebridge.co.jp/fund/40311181/tech_infra.html) からご覧ください。

ご留意事項

- 当資料は、情報の提供を目的として、パインブリッジ・インベストメンツが作成した参考資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありませんし、特定の有価証券の売買、ファンド、商品を勧誘、推奨するものではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料中の記載事項、数値、図表等は、当資料作成日時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。なお、当資料中のいかなる記載事項も、将来の投資機会または運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第307号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会